

第2630地区 多治見西ロータリークラブ

WEEKLY REPORT



「険道運荷駄図」

文化勲章受章者 荒川豊蔵氏描



例会日 毎週木曜日

事務局 多治見市新町 1丁目 23番地

TEL 0572-25-5100 FAX 0572-25-5101

n-rc@joy.ocn.ne.jp

<http://tajiminishi.jimdo.com/>

会長 伊藤正雄 会報 松浦毅

幹事 大澤大二 堀義紀

会長テーマ

家族愛 ファミリーなロータリー 愛と夢と展望

第2188例会 2011年5月12日(木)

本日のプログラム

点 鐘

国歌斉唱

君が代

ロータリーソング

奉仕の理想

四つのテスト

会長挨拶

出席報告・スマイル報告

委員会報告

理事会報告・幹事報告

卓 話

各務和宏君

「フィリピンについて」

点 鐘

いわき平中央 RC からの便りです(全文)

急啓 初めてお便り申し上げます。

私どもいわき平中央ロータリークラブは、この度の東日本大震災で被災した福島県いわき市にございます。今尚余震が続く中、ロータリアンとして地域復興に全力を注いでいる最中です。しかし、その活動も福島県、いわき市というだけで全てが原子力発電所からの放射性物質に汚染されているという風評にさらされ、復興への大きな妨げになっております。事実、商用などで他県を訪れると、入室を断られるという事象も報告されております。これら風評被害をあげれば枚挙に暇がありません。願わくば貴クラブにおかれましても、原子力被害状況への冷静なご判断の基、各会員、ご家族、お知り合いに適切なる行動を促していただきたいと心よりお願い申し上げます。貴クラブの益々のご活躍をお祈りいたすと共に、今後のご協力、ご指導を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。

着信書類

- 多治見市制記念花火大会協賛の依頼
- 株式会社エフエムたじみより
代表取締役 渡邊勝利様就任の挨拶

他クラブ例会変更のお知らせ

- ・恵那 RC → 5月18日(水) 移動例会のため
「名古屋市科学館」
- ・中津川 RC → 5月16日(月) 会員健康診断
医) 城山病院 午後 12:00

5月の例会行事

| | |
|-----|--------------------------------|
| 5日 | 法定休日 |
| 12日 | 卓話 : 各務和宏君 「フィリピンについて」 |
| 19日 | 卓話 : 佐藤八郎君 「ロータリーの社会奉仕あれこれ」 |
| 26日 | お祝い例会 |

- 16日(月) ぎふ清流国体多治見市実行委員会総会
多治見市文化会館小ホール午後 1:30
- 21日(土) 土岐 RC 創立 50 周年記念式典
「セラトピア土岐」式典 午後 3 時
- 27日(金) 多治見ローターアクトクラブ
「救命救急講習」
場所: 多治見市消防本部 (南署)
点鐘: 午後 7 時 30 分

会長御礼挨拶

先週私たち任期中の主要な事業であります、4月28日の多治見西ロータークラブ創立45周年をお祝いする、家族例会及び台湾苗栗ロータークラブとの姉妹提携調印式、5月5日まで開催しました「まなびパーク」での書画交換展示会、すでに終了済みですが「親睦家族旅行」「小中学校との親子ふれあい活動」などを含めて、すべてが皆さんの暖かい御協力の下、無事終了することができました。担当委員会の皆様、創立45周年をお祝いする家族例会等推進実行委員会(理事各位)の皆様そして会員の皆様、本当にご苦労さんでした。執行部を代表して心より御礼申し上げます。

先日苗栗クラブから御礼のお手紙(FAX)を頂きました。漢文ですが皆さんに、ご紹介致します。皆さんの席上にコピーがあります。お読み下さい。能力がありませんので、訳することはできません。何となく漢文を見られれば推測できます。私には、心からの感謝の念が読みとれました。ご想像下さい。訳文より楽しいかもしれません。あと5月が3回、6月は最終例会を含めて4回にて今期は終了します。

45期も最終章に入るわけですが最後まで例会出席などご協力の程、宜しくお願いします。

地区協議会における職業奉仕分科会に出席して

次期職業奉仕委員長 石垣智康

4月17日開催された職業奉仕分科会で、伊達則彦パストガバナーが職業奉仕について述べられたことを紹介します。

伊達パストガバナーは俳聖松尾芭蕉の「不易流行」(ふえきりゆうこう。不易とはいつまでも変わらないもの。流行とは時代時代に応じて変化すること。)という言葉を用いられ、ロータリーにおける「不易」とは、①フェローシップ(仲間との交歓)と②職業奉仕であり、そして社会奉仕は「流行」の範疇に該当し、財団から資金を出して国際奉仕するポリオはもともと、社会奉仕の理念から出発したもので、社会奉仕の国際版であると説明されました。

フェローシップは例会によって深まる。

職業という、英語ではプロフェッションという言葉とヴォケーションという言葉があるが、前者は金銭的な報酬を含む意味があり、後者はその人に相応しい天職という意味が込められていてその意味合いは異なる。

ロータリーで「職業」というのは後者であるという説明でした。ロータリーの奉仕という言葉はサービスという英語を日本語に訳したものであるが、ポール・ハリスはサービスという言葉よりむしろ、ユースフルネス(役に立つ)という言葉が適切であると述べている。

ポール・ハリスによれば、自分の職業こそが奉仕の最も手じかな道であり、未開発なカムチャッカや南洋諸島を住みよいところにする必要はない。むしろ、社員の住みよい職場にするとか、その他身の回りを改善するよう努めることが大切である、と述べているという紹介がありました。伊達パストガバナーは職業奉仕の本当の意味するところをわかりやすく簡明に説かれました。お蔭で私の頭の中が整理されました。



45周年を祝う親睦家族例会

第13次苗栗扶輪社姉妹提携継続調印式

